

福島第二原子力発電所3号機における軽油タンク配管からの油漏れについて

平成26年12月3日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成26年12月2日午後1時30分頃、福島第二原子力発電所3号機において、非常用ディーゼル発電機用の軽油タンクの配管から油が漏れいしていることを、同タンク配管の塗装作業を行っていた協力企業作業員が発見しました。

これを受け、漏れ箇所を受皿を設置するとともにテープを巻いて応急処置を行ったところ、午後1時40分頃、油の漏れいは5秒に1滴程度になり、その後、午後3時19分、当該配管の元弁を閉じることにより漏れいは停止しました。

漏れた油の量は約300ミリリットル(受皿で受けた量約100ミリリットル含む)で、すべて同タンク設置箇所に設けられた防油堤の中にとどまっております。

消防署による確認の結果、午後3時19分、「危険物の漏れい事故」と判断されました。

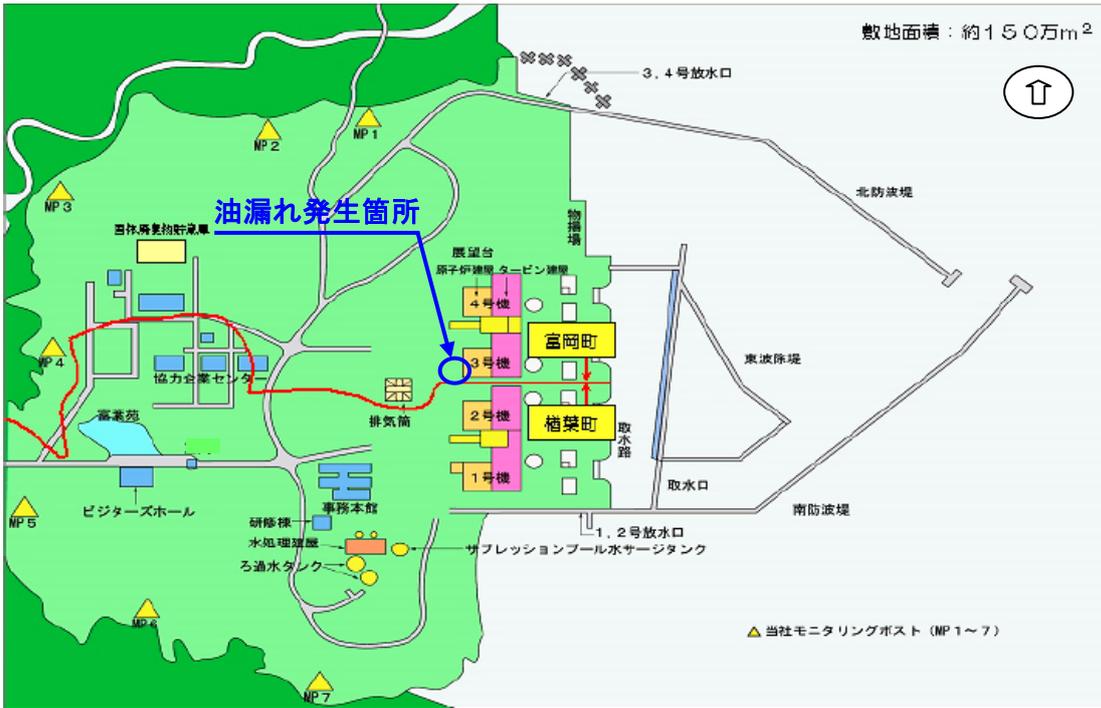
本件によるプラントへの影響はなく、また、外部への放射能の影響もありません。

今後、原因について調査してまいります。

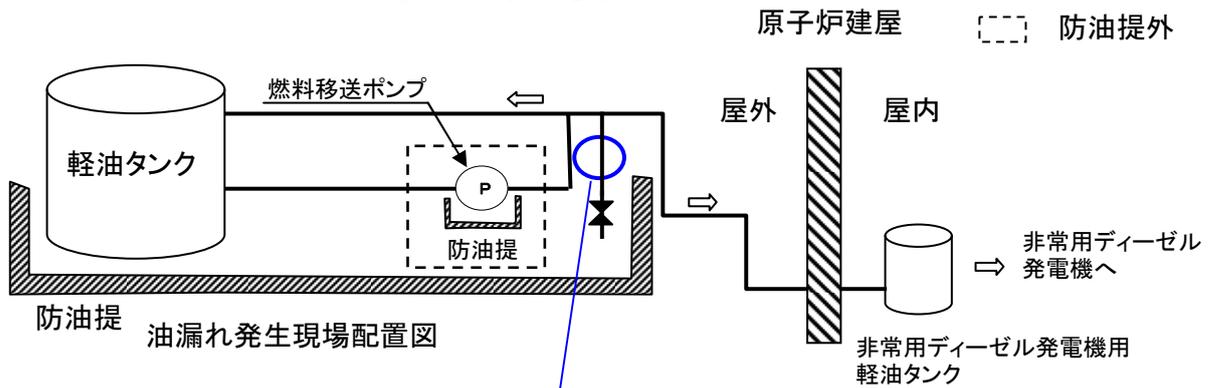
以上

(お問い合わせ先)

福島第二原子力発電所広報部
電話：0240-25-4111 (代表)



福島第二原子力発電所 概略図



油漏れ箇所(応急処置後)

福島第二原子力発電所 油漏れ 現場概略図